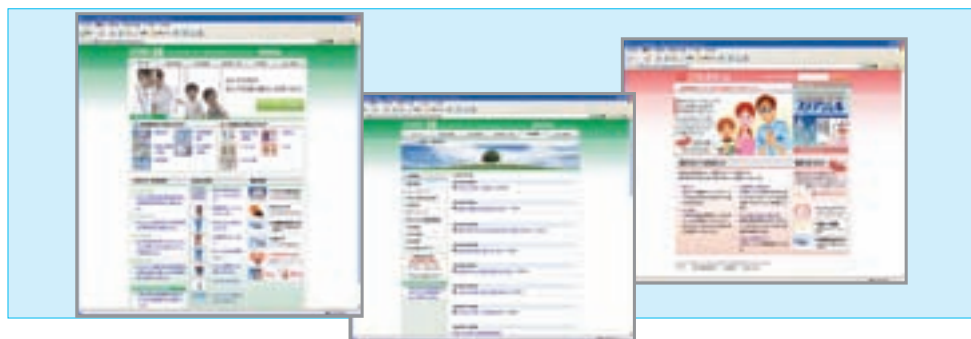


川本産業のホームページもご覧ください。



<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>

### 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
 剰余金の配当基準日 3月31日  
 (中間配当を行う場合は9月30日)  
 定時株主総会 毎年6月下旬  
 単元株式数 1,000株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社  
 上場取引所 株式会社東京証券取引所 市場第二部  
 株式会社大阪証券取引所 市場第二部  
 証券コード 3604

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取以外の株式売買は出来ません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

公告方法 電子公告 (<http://www.kawamoto-sangyo.co.jp>)

ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成23年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成23年の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。



## 第80期報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

P1..... トップメッセージ  
 P5..... 特集  
 P6..... 製品のご案内  
 P7..... 財務諸表  
 P9..... 会社概要  
 P10..... 株式情報





代表取締役社長

武元 康昭

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のことと拝察申し上げます。平素は格別のご支援ご愛顧を賜わり厚くお礼申し上げます。さて当社第80期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）事業年度を終了いたしましたので、事業の概況並びに主要事項をご報告申し上げます。

### Q 当期の業績はいかがだったでしょうか

**A 新型インフルエンザ関連製品の売上高増加も加わり、過去最高の増収・増益を達成いたしました**

当医療衛生材料業界におきましては、上期には新型インフルエンザが国内で流行したことの影響を受けて、感染予防関連製品の需要は増加いたしました。一般的には引き続き厳しい経営環境は継続しております。

このような状況下で、当社の業績は新型インフルエンザ関連製品の売上増加も加わり、売上高324億4百万円（前期比8.4%増）、営業利益7億20百万円（同86.3%増）、経常利益6億97百万円（同70.5%増）、当期純利益4億6百万円（同83.3%増）となり、過去最高の増収・増益を達成いたしました。

メディカル部門では、製品売上高は、医療用マスク・医療用使い捨て手袋・手指消毒剤などの感染予防関連製品、そしてセットパック製品・ステリコットα・口腔ケア用品などの重点販売製品を中心に医療用品および介護用品が増加いたしました。商品では、大手量販店向けの

育児用品および医療機関向けの感染予防の商品を中心とした医療用品が増加いたしました。貿易部では、為替レートの円高の進行等のマイナス要因のなかで、中近東を中心とした幅広い市場に対して衛生材料および医療用品の積極的な販売活動を行い、売上高は12億58百万円（同4.2%増）となりました。これらの結果、メディカル部門全体の売上高は、303億58百万円（同9.5%増）となりました。

テキスタイル部門では、量販店向けのベビー用衣料品の販売強化に努めましたが、素材販売およびねまき・てぬぐいの減少傾向が継続しており、売上高は20億46百万円（同5.8%減）となりました。

利益面では、従来から進めてまいりました生産体制の効率化の推進、販売価格の見直し、そして、より付加価値の高い製品の販売に努めたことにより、売上総利益率は18.7%となり0.7ポイント改善いたしました。

経費面では、販売費及び一般管理費で、売上高増加に伴い運賃関連経費が増加し、53億54百万円（同7.2%増）となりました。

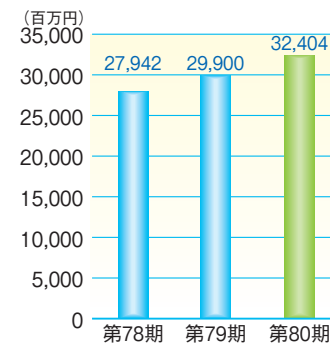
また、営業外収益で為替差益が40百万円、営業外費用でデリバティブ評価損（為替予約評価損）が36百万円発生いたしました。

### Q 当期の改善策についてお聞かせください

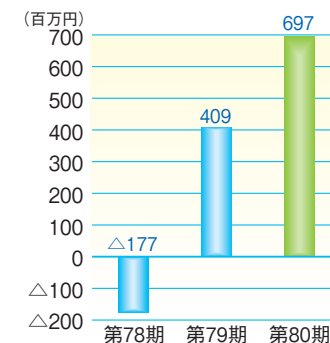
**A 製品開発力の強化、生産の効率化、流通面の合理化に努めてまいりました**

開発面では、医療用製品の多様な専門知識を駆使するとともに、当社のマーケティング力を活かし、そして、医療機関・学識経験者との共同開発についても積極的に

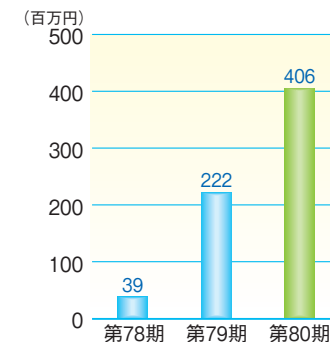
## ■ 売上高



## ■ 経常利益

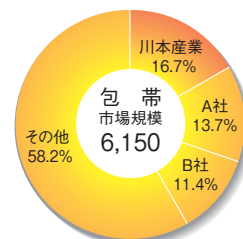
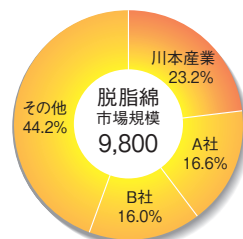
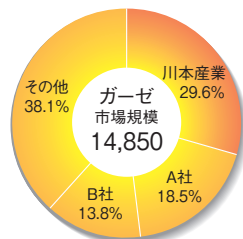


## ■ 当期純利益



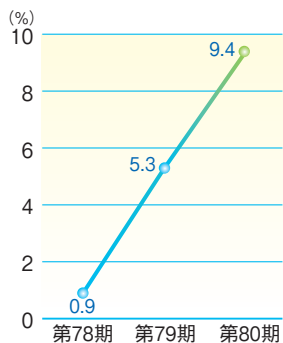
## ■ ガーゼ・脱脂綿・包帯

医家向けシェア (単位: 百万円)

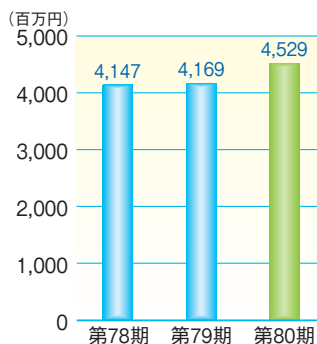


資料: 矢野経済研究所 ('08~'09年版) 2007年度シェア

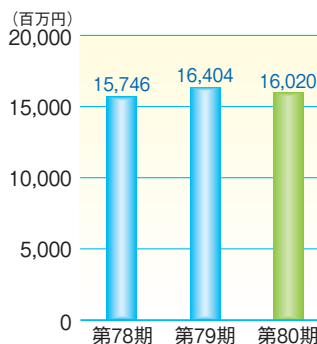
■自己資本当期純利益率



■純資産



■総資産



行い、専門性および独自性のある製品の開発・製造に注力してまいりました。

生産面では、大阪工場から中国協力工場への医療用ガーゼ生産工程の移行をさらに推進しており、全体的な生産性の効率化を進めてまいりました。

流通面では、直販部門の近畿圏は「大阪和泉物流センター」、首都圏は「埼玉営業所物流課」にそれぞれ業務の集約・効率化を推進しており、在庫の削減・適正化と商物分離による営業力強化に努めてまいりました。

これらの改善策での実行を成果につなげることで、より安定的な収益性をあげることを目指してまいりました。

**Q** 次期の展望と今後の見通しについてお話しください

**A** 売上高 325 億円、営業利益 8 億円、経常利益 7 億 20 百万円、当期純利益 4 億 26 百万円を目指してまいります

次期の見通しにつきましては、国内経済の景気回復が期待されるものの、引き続き厳しい経営環境が続くものと思われまます。

このような状況のなかで当社は、今後も「開発体制」・「生産体制」・「販売・物流体制」・「管理体制」・「品質管理体制」のさらなる強化・充実に、全社をあげて取り組んでまいります。

メディカル部門では、マーケティング力を活かした製品開発に努めるとともに、生産面では、大阪・埼玉・上海の3拠点の役割の明確化と総合的な合理化策を実施し、販売・物流面では、全国販売拠点および物流体制の整備・効率化を推進し、利益重視の方針に基づく諸対応策をスピードを上げて実施してまいります。貿易部では、

国内部門との連携を一層強化し、より付加価値の高い製品の販売に積極的に取り組んでまいります。

テキスタイル部門では、消費者ニーズに沿った製品の開発と販売店との取引の強化に努めてまいります。

そして、全部門でさらなる効率的な経費支出の意識徹底をはかり、一層のコスト低減につなげ、全社をあげて基本方針を全うするべく改善・努力を推進してまいります。

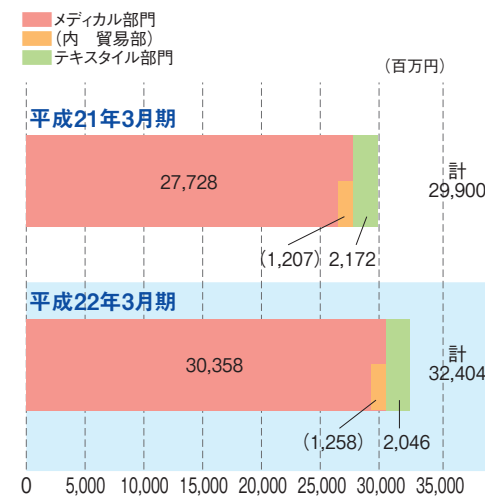
株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 予想数値につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

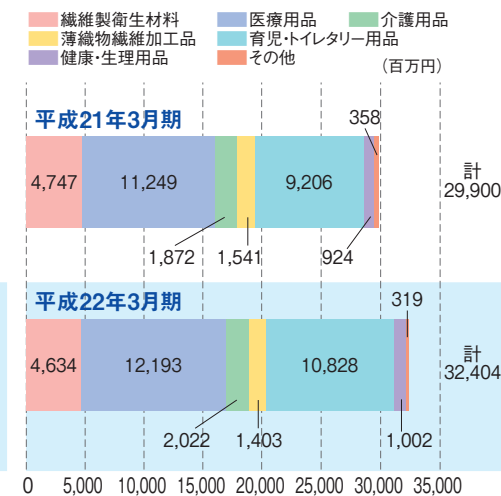


部門別・品目別の売上高

■部門別売上高



■品目別売上高



## 鏡視下臓器圧排用スポンジ「エンドラクター®」の新バージョンTypeJを発売いたしました

「エンドラクター®」は、鏡視下手術時に、12mmポートから容易に挿入でき、圧縮したスポンジを体腔内で吸水・膨潤させ、視野の障害となる臓器の圧排に使用します。

「エンドラクター®TypeJ」は、腹腔鏡下直腸手術に特化し、小腸の圧排をさらに容易にするため、膨潤時に効果的に湾曲する形状に設計いたしました。



「一般医療機器」

### 製品の特長

- 小腸排除のための極端な頭低位が不要です。
- 小腸を包み込むように中央部が広くかつ湾曲しているため損傷のリスクも軽減でき、効果的な圧排が可能です。
- 骨盤腔内の術野を広くとることができます。
- 両端の幅を狭くした形状のため固定がしやすく、鉗子操作を行うスピースも確保しています。
- X線で容易に判別が可能です。

## 綿棒付き10%ポビドンヨード製剤 消毒綿棒「ポビドンプラス」

(平成22年春 1.5 2本入を新発売)



「第3類医薬品」 外皮消毒剤

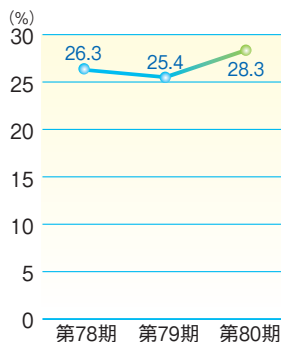
### 製品の特長

- 軸に薬液が付きにくい構造です。
- 薬液の飛散を防ぐため、薬液ポケットまでフィルムが開きにくい加工をしています。
- 透明フィルムのため、使用前に綿棒・薬液の状態が簡単に確認できます。
- 容量・本数がわかりやすい識別アイコンがついています。
- 容器は、簡易トレイとして利用可能です。



品名	規格	包装
消毒綿棒ポビドンプラス1.5 1本入	綿棒：綿体径：約10mm 全長：約156mm 薬液量：1.5mL	1本/包×30包/箱
消毒綿棒ポビドンプラス1.5 2本入	綿棒：綿体径：約10mm 全長：約156mm 薬液量：3mL	2本/包×30包/箱
消毒綿棒ポビドンプラス4.5 1本入	綿棒：綿体径：約14mm 全長：約158mm 薬液量：4.5mL	1本/包×30包/箱

自己資本比率



資産の部

① 流動資産

流動資産は前期末に対して1億93百万円減少いたしました。  
「受取手形」・「売掛金」が4億3百万円減少、「たな卸資産」が24百万円増加、「前払費用」が15百万円増加、「短期貸付金」が25百万円減少、「未収入金」が1億85百万円増加したことが主な要因です。

負債の部

② 流動負債

流動負債は前期末に対して44百万円増加いたしました。  
「支払手形」・「買掛金」が5億73百万円減少、「1年内返済予定の長期借入金」が3億43百万円増加、「未払金」が75百万円増加、「未払法人税等」が72百万円減少、「前受金」が1億1百万円増加、「1年内返還予定の預り保証金」が1億48百万円増加、「賞与引当金」が21百万円増加したことが主な要因です。

③ 固定負債

固定負債は前期末に対して7億87百万円減少いたしました。  
「長期借入金」が6億36百万円減少、「リース債務」が28百万円減少、「長期未払金」が6百万円減少、「長期預り保証金」が1億47百万円減少、「為替予約」が36百万円増加したことが主な要因です。

④ 純資産

純資産は前期末に対して3億59百万円増加いたしました。  
「繰越利益剰余金」が3億28百万円増加、「その他有価証券評価差額金」が31百万円増加したことが主な要因です。

貸借対照表

(単位:千円)

	平成22年3月期 (平成22年3月31日現在)	平成21年3月期 (平成21年3月31日現在)
① 流動資産	9,879,724	10,072,908
固定資産	6,140,497	6,331,209
有形固定資産	4,920,272	5,099,024
無形固定資産	47,416	61,278
投資その他の資産	1,172,809	1,170,907
資産合計	16,020,222	16,404,117
② 流動負債	8,669,803	8,625,619
③ 固定負債	2,821,197	3,608,529
負債合計	11,491,001	12,234,149
株主資本	4,431,348	4,103,226
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
資本準備金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	2,358,900	2,029,909
利益準備金	86,100	86,100
その他利益剰余金	2,272,800	1,943,809
配当引当積立金	5,000	5,000
別途積立金	1,000,000	1,000,000
繰越利益剰余金	1,267,800	938,809
自己株式	△ 3,149	△ 2,280
評価・換算差額等	97,873	66,742
その他有価証券評価差額金	97,873	66,742
④ 純資産合計	4,529,221	4,169,968
負債及び純資産合計	16,020,222	16,404,117

損益計算書

(単位:千円)

	平成22年3月期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成21年3月期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	32,404,247	29,900,981
売上原価	26,329,723	24,519,273
売上総利益	6,074,524	5,381,707
販売費及び一般管理費	5,354,194	4,994,969
営業利益	720,329	386,737
営業外収益	229,789	252,431
営業外費用	252,539	229,995
経常利益	697,579	409,173
特別利益	31,124	22,476
特別損失	16,301	53,748
税引前当期純利益	712,401	377,902
法人税、住民税及び事業税	245,975	171,100
法人税等調整額	59,503	△ 15,233
当期純利益	406,922	222,035

株主資本等変動計算書

平成22年3月期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:千円)

	資本金	株主資本				自己株式	株主資本合計			
		資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 合計	利益剰余金 その他利益剰余金	利益剰余金 合計					
平成21年3月31日 残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	938,809	2,029,909	△ 2,280	4,103,226
事業年度中の変動額										
剰余金の配当							△ 77,931	△ 77,931		△ 77,931
当期純利益							406,922	406,922		406,922
自己株式の取得									△ 868	△ 868
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)										
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	-	328,991	328,991	△ 868	328,122
平成22年3月31日 残高	883,000	1,192,597	1,192,597	86,100	5,000	1,000,000	1,267,800	2,358,900	△ 3,149	4,431,348

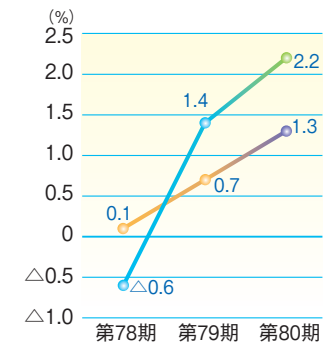
	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成21年3月31日 残高	66,742	66,742	4,169,968
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△ 77,931
当期純利益			406,922
自己株式の取得			△ 868
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	31,130	31,130	31,130
事業年度中の変動額合計	31,130	31,130	359,252
平成22年3月31日 残高	97,873	97,873	4,529,221

キャッシュ・フロー計算書

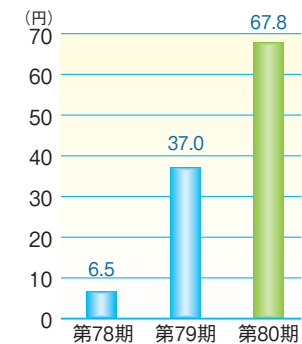
(単位:千円)

	平成22年3月期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	平成21年3月期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	444,485	477,497
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 21,596	△ 39,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 428,062	△ 346,156
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1,127	△ 2,673
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,300	89,578
現金及び現金同等物の期首残高	1,029,428	939,850
現金及び現金同等物の期末残高	1,023,128	1,029,428

売上高経常利益率  
売上高当期純利益率



1株当たり当期純利益



# 会社概要

## ■ 会社概要 (平成22年3月31日現在)

社 名 川本産業株式会社  
 設 立 昭和6年1月  
 資 本 金 883,000,000円  
 従 業 員 数 647名 (内、契約雇用者数128名)

## ■ 役員 (平成22年6月24日現在)

代表取締役社長 武 元 康 跡  
 代表取締役副社長 川 本 武  
 ※専務取締役 向 安 藤 茂  
 ※取締役 佐々木 功 雄  
 ※取締役 北原 邦 廣  
 常勤監査役 川 本 新 史  
 常勤監査役 日 上 俊 彦  
 監査役 山 本 久 彦  
 監査役

(注) 監査役日上俊彦、山本久彦氏は社外監査役であります。  
 ※印の取締役は執行役員を兼務しております。

## ■ 執行役員 (平成22年6月24日現在)

執行役員 塩 野 宗 一  
 執行役員 岡 本 博 博  
 執行役員 横 田 茂 茂  
 執行役員 岡 田 本  
 執行役員 川 本 清 治  
 執行役員

## ■ 事業所

● 本 社 〒540-0022  
 大阪市中央区糸屋町2-4-1  
 TEL.06-6943-8951

- 支 店  
 ● 東 京 支 店 東京都杉並区阿佐谷北6-1-6
- 営業所  
 ● 仙 台 営 業 所 宮城県仙台市泉区泉中央3-18-4 オフィス21泉4F  
 ● 千 葉 営 業 所 千葉県市川市大和田4-19-2  
 ● 埼 玉 営 業 所 埼玉県加須市花崎5-31-1  
 ● 日 本 橋 営 業 所 東京都中央区東日本橋3-7-19 友東東日本橋駅前ビル4F  
 ● 名 古 屋 営 業 所 愛知県名古屋市中区城西3-12-12  
 ● 京 都 営 業 所 京都府京都市南区上鳥羽岩ノ本町82-1  
 ● 堺 営 業 所 大阪府堺市堺区大浜南町2-5-8  
 ● 南大阪1・第2営業所 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20  
 ● 神 戸 営 業 所 兵庫県神戸市東灘区住吉南町3-3-5  
 ● 広 島 営 業 所 広島県広島市中区白島中町2-2  
 ● 福 岡 営 業 所 福岡県福岡市博多区博多駅東3-1-8 ヒロショービル2F

- 出張所  
 ● 高 松 出 張 所 香川県高松市多肥下町21-1 香西ハウス1F
- 駐在所  
 ● 札 幌 駐 在 所 北海道札幌市東区北26条東8-2-1 サンシャイン85 208号  
 ● 鹿 児 島 駐 在 所 鹿児島県鹿児島市皇徳寺台3-68-1
- 工 場  
 ● 大 阪 工 場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20  
 ● 埼 玉 工 場 埼玉県加須市花崎5-31-2
- 物 流  
 ● 大 阪 和 泉 物 流 セ ン タ ー 大阪府和泉市伏屋町5-5-12

# 株式情報 (平成22年3月31日現在)

## ■ 株式の状況

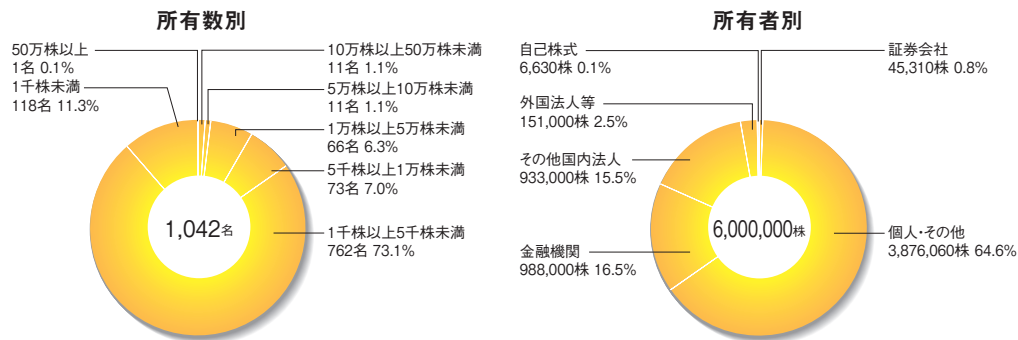
発行可能株式総数..... 16,000,000株  
 発行済株式の総数..... 6,000,000株  
 株主数..... 1,042名

## ■ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
巴株式会社	600,000	10.0
川本社員持株会	426,250	7.1
株式会社みずほ銀行	249,500	4.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	249,500	4.2
伊藤忠商事株式会社	196,000	3.3
株式会社りそな銀行	175,000	2.9
川本 洋之助	170,800	2.8
川本 晴男	153,600	2.6
川本 武	143,000	2.4
カワモト取引先持株会	140,000	2.3

※持株比率は自己株式(6,630株)を控除して計算しております。

## ■ 株主分布状況



## ■ 株価および売買高の推移

